

稲作

▼早生稲▲

苗代被覆物の除去と管理
 芽出しを十分してある場合は十日目で本葉一・五枚となるので天気の良い日を見計らって極力早目に取り除く。おけると実害をうけやすくムレ苗が出やすいので注意する。被覆物をとると二・三日は深水とし夜間は苗がかくれる程度に洪水しましょう。

越路早生は寒害を受けやすいので注意し、追肥を施す時は除去後直ぐに三、三平方尺当り硫酸四十分内外を施用しましょう。

ツマグロヨコバイの防除
 萎縮病や黄萎病に最も罹りやすい時期ですので苗代および周辺のツマグロヨコバイを四・五目置きにメオパール粉剤などで徹底的に防除しましょう。

元肥・除草剤
 施肥料は農協の配布した施肥例を参考にして施用して下さい。除草剤を使用する場合は田植三日前にMO粒剤四畝内外を散布しましょう。

田植および水のかげひき
 生育を促進させるためなるべく浅植とし三、三平方尺当り七十株内外とします。活着までは深水とし以後は浅水として分けつを促進させましょう。

せましよう。
 除草剤使用
 田植前に使用しなかった場合はMO粒剤三畝を均一に散布しましょう。

果樹

▼柑きつ類▲

苗木の植えつけ 上旬は先月に引き続き植えつけの適期です。

▼落葉果樹▲
 モモ、ブドウに薬剤散布で摘果、摘粒の省力化
 モモ石灰いおう合剤三十倍〜五十倍液を満開時とその二〜三日後の二回散布か、ピーチン百五〜二百PPMで満開二〜五日後に散布すると摘果の省力ができます。

キャンベルの芽かきと、ジベン



4月の主な農作業と生活です。
 参考にしてください。

南国農業改良普及所 市営農改善会

温度管理
 高温障害は着果を悪くするばかりでなく、樹勢も弱め、病害の発生を助長し、品質収量を低下させますので、換気に十分注意してください。

特に雨上りの晴天には注意し、急激な換気は避けてください。
 かん水
 高温乾燥の障害が多くなりま

- ▼空胴病(ピーマン、シントウ、トマト)
- ▼黒枯病(ナス)
- ▼葉カビ病(トマト)
- ▼べと病(キュウリ)
- 土壌病害(青枯病、いちよう病、半枯病、根腐れ症状)
- 虫害
- ▼アカダニ
- ▼アブラムシ
- ▼ジャガイモガ
- ▼ナメクジ
- ▼カタツムリ

国民健康保険証を 更新されましたか

国民健康保険者証(オレンジ色)は、三月三十一日で無効となり受診することができません。
 旧証(オレンジ色)を市役所市民課関係まで持参してください。四月一日発行の新しい保険証(モモ色)ととりかえています。

郵便物には郵便番号を

- 久礼田、瓶岩、上倉、国府 〇七八一四二
- 岡豊 〇七八一一五二
- 伊達野、稲生、十市 〇七八三〇一
- 大嶽、日章など南園局管内 〇七八三三

ハウス野菜

▼灰色カビ病(全作物)
 ▼ウドンコ病(全作物)

リン散布による省力化
 花穂のよしあしや、新梢の状態が確認できると、早く芽かきを行なうこと。三・三平方尺に二十木前後が標準です。
 ジベレリン五PPM液を散布すると、花穂がばらけて果粒が粗着化し粒間引きの手数が省けます。

苗木の移植や本畑への定植を行な
 いましょう。
 。高つき更新 中旬から高つき更新の適期です。不良系統を更新する場合には、一芽腹つきか、高つきをしてください。
 。そうか病の防除 上、中旬にデラン水和剤(千倍液)か、トップジン水和剤(七百倍液)を散布